

国立婦人教育会館

ISSN 0911-6621

## ヌエックニュース



National Women's Education Centre News—第87号

平成11年10月15日



「会館ボランティアによる文化活動の作品(絵手紙)」

## も く じ

## 総合テーマについて“ひとこと”

「エンパワーメントは21世紀への合言葉  
新たな共生をめざして」

～エンパワーメントの学習づくり～

東洋大学文学部教授 神田道子 ..... 2

## 事業の実施報告

・女性学・ジェンダー研究フォーラム..... 3

・教師のための男女平等教育セミナー..... 4

・家庭・地域で担う子育て支援セミナー..... 4

・フォーラム家庭教育..... 4

## 事業予告・募集

・NWE Cアドバンストコース..... 5

・全国ボランティア情報提供・相談窓口の開  
設について..... 5

## 調査研究資料の作成

・開館20周年記念女性と生涯学習国際フォー  
ラム報告書..... 5

・開発と女性に関する文化横断的調査研究報  
告書..... 5

・男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策  
に関する調査研究アンケート調査報告書..... 5

情報ネットワーク..... 6

ことばの基礎知識..... 7

嵐山往来..... 7

ボランティアコーナー..... 7

ヌエックニュース読者アンケート..... 7

かいらんばん..... 8

平成11年度 国立婦人教育会館総合テーマ  
『エンパワーメントは21世紀への合言葉  
新たなる共生をめざして 』について

## 神田道子氏が語る

### “ ひとつこと ”



## エンパワーメントの学習づくり

エンパワーメント＝力をつけることが、女性問題解決の重要テーマになってきたが、言葉だけが先走りして、その内容となると、もう一つはっきりしないというのが現状ではないだろうか。それも学習に関係しているだけに、これまでいわれてきた能力開発とか自己開発などと同じことで、言葉が変わっただけではないかといった想いをもっている人もある。

エンパワーメントは1995年の世界女性会議で採択した北京宣言で、繰返しいわれており、行動綱領を女性のエンパワーメントに関するアジェンダ（予定表）として位置づけている。それは1975年以来の取組みの到達点であり、21世紀に向けての方向といってよい。

ではどこにその特徴があるのか。私は一人ひとりが力をつけることが、個人の生活次元だけにとどまらないで、社会づくりの次元まで視野に入れた、というよりそこに力点が置かれているところに、エンパワーメントの特徴があると考えている。これは社会参加から社会参画へという平等化への流れと対応している。既存の社会に参加して対症療法的に問題解決に取り組むのではなく、社会の仕組み、大枠自体をも変えるという視点で、方針や計画づくりに参加していく（＝参画）ことが具体的に課題になってきた。それと関連しているのがエンパワーメントである。もちろん今までの学習にその視点がなかったわけではない。だがそこに重点をおいているという意味で、新しい部分を加える必要がある。

ではそれはどのような学習なのか。言えることは、エンパワーメントを「 」においた学習ではないということである。なんのために、なぜエンパワーメントが必要なのか、そしてどのような力が必要なのか、その力をつける学習とは、活動をしていけば力がついていくのか、講座や学級などの場についていく力とはなどなど、明らかにしていかなければならないことが多い。それも手本があるわけでないから、女性自身が学習をつくっていかなければならないのが今の状況である。

1975年以降の女性問題解決のための学習の過程をみると、主婦＝性別分業にもとづく女性の生き方の性差別性を、日常生活に即して明らかにし問題として認識する学習から、意識の変革の学習を経て、エンパワーメントの学習へと歩みを進めてきた。この学習を創っていく過程そのものがエンパワーメントであると同時に社会づくりの力になっていく、いわば資源になる力をつくる学習なのである。

## プロフィール

現 職 東洋大学文学部教授  
専攻分野 女性学、教育社会学、社会教育学  
所属学会等 日本教育社会学会、日本社会教育学会、女性学研究会  
日本教育学会 等  
主な著書 現代における婦人の地位と役割（光生館 1972年）  
女たちのゆくえ（勤草書房）  
新・現代女性の意識と生活（共編著）  
NHKブックス 等

### 女性学・ジェンダー研究フォーラム 嵐山が燃えた3日間!

国立婦人教育会館では8月6日(金)～8日(日)の間、全国から2,057人の参加者を得て、女性学・ジェンダー研究フォーラムを開催しました。主題は「女性のエンパワーメントと女性学・ジェンダー研究 - 新しい価値の創造 - 」。参加者は初回が809名、第2回が1,445名、第3回が2,027名、今回が2,057名とフォーラムの規模は年々拡大しております。

このフォーラムは、ヌエックが昭和55年より16年間実施した「女性学講座」の成果を踏まえ、また、平成7年に中国の北京で開催された第4回世界女性会議の「行動綱領」の具体化に向けた様々な実践・研究・教育の取組を結ぶ場として平成8年度より開催しており、今年で4回目となります。目的は、女性のエンパワーメントと女性の人権の確立をめざす各地の女性たちがそれぞれの活動の成果を持ち寄ってワークショップを開催し、ネットワークづくりをすすめ、今後の活動の展開を図ることにあります。

プログラムは、初日のシンポジウム「変革への力にどう生かす!」男女共同参画社会基本法(講師:江橋崇・法政大学教授、大沢真理・東京大学教授、橋本ヒロ子・十文字学園女子大学助教授、山口みつ子・(財)市川房枝記念会常務理事)のほか、全国より公募した96件の自主企画のワークショップで構成しました。

ワークショップのテーマは「政策決定の場への女性の参画」「女性に対する暴力」「女性と表現」がそれぞれ1割を占め、男女共同参画社会の形成に向けた今日的課題の解決について、多様な取組をしている様子が窺えます。

「男女共同参画社会基本法とその関係資料」を掲載した当日配布資料に若干の残部があります。御希望の方は、事業課「女性学・ジェンダー研究フォーラム担当」までお問い合わせください。



どう生かす!? 男女共同参画社会基本法、白熱したシンポジウム



わたしの名前は“うちのヨメ”こんな呼び方、あなたは賛成? それとも反対?



「なぜ女は赤、男は青なの……」  
男女共同参画社会啓発カルタ



拍手喝采! ジェンダー落語



### 教師のための男女平等教育セミナー

7月22日から24日の3日間、「学校教育の中のジェンダー／男女平等教育を考える」を主題に、男女共同参画社会の形成に向け、教師のための生涯学習の一環として、学校教育における人権尊重、男女平等に関する指導の充実及びジェンダーに敏感な視点の定着と深化を目的としたセミナーを開催しました。

今年度で3回目となるセミナーでは、文部省生涯学習局男女共同参画学習課長有松育子氏の「男女共同参画社会の実現に向けて」及び十文字学園女子大学助教授亀田温子氏の「学校教育をジェンダーの視点から見直す」の講義の外、参加者自身の男女平等教育に関する実践報告をもとに、道徳指導、性に関する指導、学級運営、進路指導の4分科会に分かれ熱心な協議、意見交換が行われました。



開会式であいさつする大野館長

### 家庭・地域で担う子育て支援セミナー

国立婦人教育会館では、9月17日(金)18日(土)の2日間「家庭・地域で担う子育て支援セミナー」を開催しました。「家庭・地域で担う子育て支援セミナー」は、社会教育行政関係者、女性施設関係者、家庭教育支援を進めている団体・グループ等、PTA・学校教育関係者、家庭教育支援を進めている企業等から89名(女性69名、男性20名)が参加して行われました。

本セミナーでは、男女共同参画社会の形成に向けて、地域社会の活動及び家庭教育に男性の参加を促し、子どもの豊かな人間性をはぐくむ家庭教育を支援するための実践的研修を実施しました。



分科会で助言を行う聖徳大学人文学部教授  
松下俱子氏

### フォーラム家庭教育

9月18日(土)の午後、「家庭・地域で担う子育て支援セミナー」に引き続き行われた「フォーラム家庭教育」(文部省・国立婦人教育会館・埼玉県教育委員会の共催)は約250名の参加者を得て、第1部では文部省制作の家庭教育ビデオ「7人の専門家に聞きました 子育ての極意 ゆっくり、ゆったり」を上映し、第2部では「子どもの心をはぐくむ家庭・地域・完全学校週5日制に向けて」というテーマで、パネリストに大下勝巳氏(おやじの会「いたか」世話人・(社)日本広報協会編集部長)、服部祥子氏(大阪府立看護大学教授)、樋田大二郎氏(聖心女子大学助教授)、コーディネーターに南美希子氏(エッセイスト)を迎えてパネルディスカッションを行いました。



活発な意見交換が行われたフォーラム

## NWEC（国立婦人教育会館）アドバンストコース

平成12年1月24日(月)から1月28日(金)4泊5日で、行政担当者、婦人教育・家庭教育関係団体・グループのリーダーを対象に、ジェンダーの視点に立った婦人教育・家庭教育に関する事業の企画・立案に必要な専門的知識・技術の修得及び女性、家庭・家族等に関し、当面する課題の解決に資する実践的な研修として、「NWEC(国立婦人教育会館)アドバンストコース」を開催します。詳細は事業課 アドバンストコース担当まで。

## 全国ボランティア情報提供・相談窓口の開設について

会館においては、文部省からの委嘱により「全国ボランティア情報提供・相談窓口事業」を実施し、ボランティア活動の情報について電話等により情報提供や相談を行う窓口を平成12年2月から3月を目途に開設することとしております。事業内容は次のとおりです。

### 事業内容

#### 1 情報提供業務の内容

ボランティア活動を始めたい人に対し、どこに問い合わせれば希望するボランティア活動の情報を得られるかについて、相談員による情報提供を行う。

また、「全国ボランティア紹介窓口データベース」からインターネットによる情報提供(24時間)を行う。

#### 2 情報提供の方法

会館内に常時2名の相談員を配置し、電話相談(9:00~17:00、12月28日~1月4日を除く毎日)FAX及びインターネットによる情報提供(随時)を行う。

全国ボランティア情報提供・相談窓口の概念図



## 調査研究資料の作成

### 開館20周年記念女性と生涯学習国際フォーラム報告書

平成9年11月に開催された「開館20周年記念女性と生涯学習国際フォーラム」の報告書を出版しました。本報告書は、日英対訳で、シンポジウムや全体会の記録と、分科会の専門家の発表原稿から構成されています。詳しくは国際交流係にお問い合わせください。



### 開発と女性に関する文化横断的調査研究報告書

#### 「女性のエンパワーメントと開発 タイ・ネパール調査から」

平成6年度~10年度に実施した調査研究事業「開発と女性に関する文化横断的調査研究」の成果を1冊にまとめました。タイ・ネパールでの現地調査の調査結果をもとに、開発援助プロジェクトにおける女性のエンパワーメントの促進条件等について報告しています。



### 男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策に関する調査研究アンケート調査報告書

平成10年度から文部省の委嘱を受け「男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策に関する調査研究」を進めています。初年度には家庭教育行政担当者を対象としたアンケート調査を実施しました。この結果が報告書としてまとめられましたので、都道府県、政令指定都市、特別区、市の教育委員会に配布しました。





## 海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業



平成11年7月25日から9月1日の40日間の日程で、海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業を実施いたしました。この事業は政府開発援助の一環として平成元年度から毎年実施しており、女性問題の意識啓発に関する分析・まとめの技術、及び情報メディアの活用を修得するとともに、アジア太平洋地域における女性問題に関して相互理解を深め、女性情報ネットワーク化の促進を図ることを目的としています。

今年度はフィジー、キリバス、マレーシア、モンゴル、フィリピン、ウズベキスタンの6カ国から6名が参加し、情報発信のためのホームページ作りなどの技術の修得に力点を置いた実践的研修の他、地元の嵐山町でのホームビジット、夏祭りへの参加、会館内茶室でのお茶会などが国の文化、伝統行事等を体験しました。下記URLにより、6名の研修成果を公開しております。

(URL <http://www.nwec.go.jp/itt/index.html>)

### ホームページの見出しの和訳

「世界中の皆さん、このホームページは、国立婦人教育会館の平成11年度海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業での私たちの活動を紹介するものです。会館は、アジア太平洋地域の女性情報ネットワークの推進を目的として、毎年同地域の女性の教育と情報の専門家を招いて、最新の情報技術の研修を行っています。今年は、次の6カ国から6人が招かれ、ホームページの作成・公開の仕方を学びました。国旗をクリックして、努力の結果を御覧ください。このページを見てくださって、ありがとうございます。」

	フィジー (Fiji) Sainiana Vulagica Rokovucago (サイニア・ヴラニバ・ロコヴバゴ) 女性及び文化省女性のための情報担当官		モンゴル Khishigsuren Ikhagva (ヒシゲ・ハクワ) 健康及び社会保障省統計担当官
	キリバス (Kiribati) Aren Ueara Teannaki (アレン・ウィーラ・ティーンナキ) 環境及び社会開発省女性開発担当官		フィリピン (Philippines) Agnes Inocencio Dichoso (アグネス・イノセンシオ・ディチョソ) フィリピン全国女性の役割委員会統計官
	マレーシア (Malaysia) Faridah Zainal Abiddin (ファリダ・ザイナル・アビディン) 全国統一及び社会開発省女性局司書		ウズベキスタン (Uzbekistan) Firuza Bakhodiroba Kabulova (フィルザ・バハディロブナ・カプロバ) ウズベキスタン国連開発計画事務所財務部職員



嵐山町夏祭りに参加して揃いのほっぴ姿で  
関根町長とのスナップ



閉講式終了後職員と記念写真におさまる研  
修生

## ことばの基礎知識

### 女性学ってなに？

1960年代末から、女性たちが、従来の男性中心の学問を問い直し、女性の視点によって女性の生活や経験をとらえ、自らが直面する性差別の問題解決に向けて創ってきた新しい学問領域です。『国立婦人教育会館「女性学講座」報告集』（第一法規）においては、女性学を「(ア) 女性を研究対象とする、(イ) 女性の視点から見直す、(ウ) 総合的かつ学際的に研究する、(エ) 実践活動や運動と深い関係をもつ」と定義しています。

## 嵐 山 往 来

8月23日(月)、ネパール大使夫人コヒヌール・マテマ氏及びネパールN G Oディディバヒニ代表サロニ・シン氏が、視察のため会館を訪問しました。お二人は、館長から会館の概要説明を受けた後、研修施設等を視察するとともに、日本家屋の響書院においては唐子茶道クラブのお茶会に招かれ、我が国の伝統文化にふれる機会を得ました。また、「海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業」の研修生との懇談の場においては、女性問題についての意見交換を行うなど有意義なひとときをお過ごしになりました。



ネパール大使夫人(中央左)を囲んで(響書院)

## ボランティアコーナー

8月14日(土)海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業の研修生をお迎えして、お茶会を行いました。

年1回の会も今年で10回目、年月の早さを感じます。当日は豪雨の中、職員、ボランティアの方々にも多数お出でいただき、びしょ濡れで飾り付けを手伝って下さった方など皆様のご協力の下、盛会に終えることができました。浴衣を着、短冊を書いて竹に結び、和紙で箸置きを折って・・・と、前半は賑やかに、後半はゆっくり涼やかに薄茶を味わっていただきました。嬉しいことにほとんどの方からお代わりの声があり、水屋は大忙しでした。竹で作った花入れにお花をさして持ち帰っていただきました。帰国後、お土産の千代紙共々、それぞれのお国で武蔵嵐山の思い出を語ってくれていると思います。



茶道を習う研修生



参加者全員の記念撮影



## 利用案内

休館日(平成11年11月～平成12年1月)

11月8日(月)・15日(月)

12月6日(月)・20日(月)・28日(火)～1月4日(火)

1月5日(水)・17日(月)

婦人教育情報センターの夜間開室

会館宿泊者の学習支援を目的として、11月末までの毎週金・土曜日、婦人教育情報センターの夜間開室時間を午後9時まで延長しておりますので、どうぞご利用ください。

\* 休館日でも前日に宿泊した方は、朝食と午前10時までの宿泊棟の利用ができます。電話やFAXによる申し込みの受付や利用相談も行っています。

## 【申し込み専用電話番号】

TEL: 0493-62-6723

FAX: 0493-62-6720

## ヌエックカレンダー

### 会館行事

1月24日～28日 NWE Cアドバンスコース

2月5日 第2回公開講演会

### 主な利用団体

#### 7月

- 4日 見てわかる介護制度(嵐山町)
- 12～17日 第32回 地方自治体女性管理監督者研修会
- 14日 青少年健全育成地域の集い(埼玉県比企西部地域)
- 17～18日 埼玉県手話通訳問題研究会
- 24～26日 親子読書・地域文庫全国連絡会
- 26～29日 全国高等学校家庭クラブ連盟
- 29～8/2日 日本生活教育連盟 夏季全国集会

#### 8月

- 3～4日 平成11年度 社会教育主事講習
- 4～5日 全国桐陰国語研究会
- 9～13日 平成11年度 関東ブロック養護教諭実技講習会
- 10～12日 (社)全埼玉私立幼稚園連合会
- 17～18日 埼玉県高等学校家庭クラブ連盟 指導者養成講座
- 19日 比企地区同和教育実践報告会(埼玉県)
- 20～22日 第13回 全国子どもとことば研究集会
- 21日 家庭教育講座 映画視聴会(嵐山町)
- 25～28日 Building Women's Studies Curriculum in Asia: Japan  
(アジア女性学ワークショップ)

#### 9月

- 1～4日 (財)日本女子社会教育会 平成11年度フォーラム「女性と学習」
- 8日 比企地区地域婦人会連合会(埼玉県)
- 11～12日 埼玉県学童保育連絡協議会
- 12日 嵐山音楽祭(嵐山町)
- 15日 福祉寺子屋'99 講演会(嵐山町)
- 19～20日 (財)衛星通信教育振興協会

## 展示コーナー



### 「女性に対する暴力」

今回(10～12月)の展示は、最近様々な調査等が行われ明らかになってきた夫や恋人からの暴力(ドメスティック・バイオレンス=DV)を中心に、「女性に対する暴力」をテーマとして取り上げました。女性の人権を確立し、問題解決を図る視点から、女性に対する暴力について考える資料を一階エントランスホールに展示中ですので是非ご覧ください。

#### \* 展示資料例

「世界の女性と暴力」「シェルター：女が暴力から逃れるために」「ドメスティック・バイオレンス」「問われる女性の人権」ほか

## 編集後記

●残暑が観測史上一番であった9月が過ぎ、武蔵嵐山ではさわやかな秋の空が広がっております。  
●アジア太平洋地域の女性情報担当者のための「海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業」は、今年で11年目になりますが、その間の情報発信技術の発達はめざましく、特に今年は、研修で学んだ技術を活かして、研修生からは帰国後自分で作った素晴らしいコンピュータの画像を電子メールに添付して送ってきました。  
●この秋は、これから「男女共同参画学習推進フォーラム」「男女共同参画学習フェスティバル」「NWE C(国立婦人教育会館)国際フォーラム」が予定されております。職員一同更に張り切って事業の実施に当たりたいと思っておりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

ヌエックニュース第87号  
平成11年10月15日  
発行

編集発行 国立婦人教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

☎0493-62-6711(代表)

FAX62-6722(庶務課) 62-6720(事業課) 62-6721(情報交流課)

ホームページ URL <http://www.nwec.go.jp/>

E-mail [webmaster@nwec.go.jp](mailto:webmaster@nwec.go.jp)